

ンターから各1件の研究紹介、企業から2件の技術紹介、そしてICタグメーカーの大日本印刷から最新の技術動向の紹介がありました(写真2)。31人の参加者があり、今後重要な技術であることから活発な議論がなされました。また、今後検討すべき課題も明らかになりました。2回目が、2月23日に「メカトロ」技術をテーマに開催される予定です。なお、10月に予定していた「画像処理」技術のテーマに関しては地元企業の参加が見込めず中止しました。



写真2 技術交流会

その他の活動として、佐世保市から佐世保市中小企業新製品開発促進事業の審査を受託し、6月に審査会、12月に中間報告会を開催しました。

2-2. 人材育成事業

この地域を現在支えている「地域企業人材」、10年先を支えてくれる「地元学生」、及び将来を支えてくれる「小中学生」に分けて人材育成活動を実施しています。

地域企業人材の育成は、今年度、経済産業省から受託した「高専等活用中小企業人材育成事業(テーマ:造船関連産業における融合型生産技術者の育成)」に集中して活動を行っています(詳細は、本誌「人材育成事業」の記事を参照P12)。

地元学生については、地元企業との交流促進を図るために、企業見学会や地域企業就職説明会などを計画し、企業見学会については高専の学生が地元企業や工業団地の見学を行いました。就職説明会は未実施です。その他に、地元企業の課題を卒業研究等のテーマとし

て取り上げることで、学生に地元企業への理解を深めてもらう活動を開始しました。既に、6企業から11テーマが提案され、高専で来年度研究テーマに取り上げるかどうかの検討を進めています。

小中学生に対しては、現在、地元の大学や高専が個別に出前授業や公開講座等を実施しています。来年度から相互に連携してさらに効果的な活動が行えるように「学」と「官」で「地域教育検討部会」を設置して検討を始めました。

2-3. 情報発信事業

今年度は、NTCとしての情報インフラを整備するために、ホームページの構築を行っています。会員への情報提供、NTCの活動や会員企業等の外部への情報発信を積極的に行っていく予定です。まだ試作段階ですが、今年度中には何とか形になるように、WGを中心に準備を進めています。

2-4. 「ビジョン」/「基盤整備」検討

ビジョンWGと基盤整備WGでは、NTCの活動の長期的ビジョンやこの地域の産業や技術に関するビジョン、そしてそれを実現するために必要な基盤は何か、あるいはそれをどのように整備するか等について検討しています。今年度は、会員や会員以外の企業等へのアンケートやヒアリングを実施して基礎情報の収集を行っています。(アンケートの詳細については、本誌「アンケート結果」の記事を参照P14)。

また、本件については、年度途中で「NTC交流会」を立ち上げて、行政との懇談会を2回開催し(11/10;長崎県, 2/9;佐世保市)、意見交換を行いました。

3. 今年度の活動を振り返って

今年度は、初年度ということもあり、限られた予算の中で、試行錯誤的に色々な事業を計画して、ほぼ計画通り実行できたのではないかと思います。

企画委員会やWGのメンバーを初めとして、活動にご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

今年度の活動を通じて、NTCでしっかりやるべき